

<p>利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。</p>	<p>利用者からのご意見・ご要望・苦情は即座に対応しその後、青少年課の担当者に報告、事故等の重要案件は職員全員が周知できるようにしており、その都度ご理解頂けるよう丁寧に説明しております。あさひでは利用児童数が多くなっており、元々おもちゃ等で遊ぶ部屋として図書室を使用していましたが、狭いという意見が児童からあった為、集会室におもちゃを移動・机等備品を整備しレイアウトを変更しました。これにより児童からは広くなり快適だと好評です。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>3 管理運営の効率性</p>		
<p>経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。</p>	<p>何が必要でどのような物で経費の低減ができるのか精査しながら管理・運営を行いました。各館でこまめな消灯による節電を行い、沼ノ端では遊戯室のLED化を行い光熱費の縮減に取り組みました。</p>	<p>Ⓐ・B・C・D・E</p>
<p>一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。</p>	<p>清掃・外観管理等を外部に委託しております。利用者が多く、使用頻度が高い箇所は自分達で可能な限り清掃をしており、都度の清掃委託はせずに経費を削減できるよう努力しております。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>収入増加のための取組はされているか。</p>	<p>沼ノ端では特に貸館は積極的に受け入れており、利用者増、収入増加に繋がっておりますが、あさひ・住吉は定期的な利用がないため今後は利用方法の周知徹底を図っていきます。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>4 適正な管理運営</p>		
<p>職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。</p>	<p>全国で800ヶ所以上の児童館を運営している為、全国の数多くの事例を参考に職員能力向上の取り組みを行っておりますが、オンラインの自由受講としていた為、研修受講者の把握をしておらず全て実施していたとは言えない状況でした。 実施した中では、児童虐待防止に関わる研修が、職能向上に役立ちました。</p>	<p>A・B・Ⓒ・D・E</p>
<p>安全対策（事故防止等）は十分だったか。</p>	<p>あさひ・住吉ではケガによる病院受診がありました。が、処置、保護者への連絡等しっかりと対応することができました。沼ノ端では遊戯室の老朽化で床の痛みがあり保護しておりますが、開館前には職員が安全を確認したのち、利用者にご利用いただいております。</p>	<p>A・Ⓑ・C・D・E</p>
<p>人員配置及び職員の管理体制は適正か。</p>	<p>職員の退職等によりセンター職員だけでは人員不足になることがあったため、会社全体でヘルプ体制を構築し、適切な人員配置を遵守するよう努めました。</p>	<p>Ⓓ・不適</p>

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	貸館の利用者には使用料、使いやすさで喜ばれています。	◎・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われているか。	申請書等の個人情報の管理は施錠のできる棚に保管し、使い終わったらすぐに戻すようにして適正な管理をしています。	◎・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	現金収受者、センター長、事務所スタッフ等複数の人員で管理を徹底しています。貸館の現金や切手は金庫に保管しています。	◎・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	消防点検、設備点検を定期的に行っています。	◎・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	個人情報は鍵付きロッカーで保管し書類、備品点検も職員全員で行っています。	◎・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	全職員がコンプライアンスを重視した、管理・運営を行っております	◎・不適
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地域に根差したセンター運営を目指し、行事等の使用物は地元の業者を中心に行っております。地域の住民の方に根差したイベントを行うことで地域貢献に努め、イベントを通して、利用者にサービスを十分に提供できています。そして職員全員が苫小牧市民です。	Ⓐ・B・C・D・E

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

なし

指定管理者の自己評価(全体を通して)

あさひでは幼児・児童共に来館は増加傾向にあり、スタッフの日常の関りの成果が現われていると考えられます。利用者の増加による部屋の変更など、柔軟な対応を行うことでより多くの利用者のニーズに答えられるセンター運営を行っております。しかし、中高生の利用はまだ少ないため、利用者へのアピールや活動内容の更新なども検討していこうと思います。

住吉では全体の利用者数は減少しましたが、中学生の利用回数、人数は増えました。アイデアを生かし、子どもの考えも取り入れながら、イベントの内容を充実させ館内外の広報によって利用の促進を図った成果が出ていると思われます。今年度は町内商店街とのイベントの相乗りができ、その後の交流にもつながりました。「楽しい、利用しやすい」センター運営が定着し、新たな実を結んでいます。次年度の開館30周年を機会に、実習などで連携している苫小牧看護専門学校の学生との交流、さらに地域の方々との交流など、一層地域に根差したセンター運営を、職員の協働によって充実させていきます。

沼ノ端では利用者は年々増加しております。スタッフの接し方が幼児の保護者からも評判がよく来館者の増加に繋がっていると思われます。今後は小中学生のイベントに力を入れ、楽しんでもらえるようスタッフ全員で協力し、今後も楽しく安全な場所であるよう日々努力していきます。